

仙台フィルとコラボ ときめき市民コンサート

「第16回ときめき市民コンサート 仙台フィルとうたおう」(登米文化振興財団主催)は10月11日、水の里ホール・Abebisouで開かれました。

コンサートは、平成17年の登米市誕生を機に始まった音楽イベントで、公募で集まった「とめ市民合唱団」のコーラスを中心に、多彩なゲストを迎えて開催してきました。コロナ禍などの影響により、令和元年の公演を最後に中断していましたが、市制施行20周年を祝い、6年ぶりに開催。岩村力さん指揮の仙台フィルハーモニー管弦楽団と市民合唱団の共演による美しい演奏と歌声が会場中に響き渡り、音楽の秋を彩りました。



73人が集まった市民合唱団は、6月から週1回の練習に励み、素晴らしいハーモニーを披露して観客を魅了しました。

個性あふれる文化祭 市民文化祭で成果を披露

「第17回登米市民文化祭」(登米市文化協会主催)が10月4、5の両日、水の里ホール・Abebisouで開かれ、2日間で約500人が来場しました。

市民文化祭は、文化芸術の発表を通じて本市の未来の文化向上を目的に開催。ステージ発表では、2日間で34団体が日本舞踊、民謡、伝統芸能などを披露し、展示発表では11団体が絵画や陶芸、生け花などを展示しました。ちぎり絵を出品した三浦艶子さん＝迫町永田＝は「個性豊かな作品に出会えるので、毎年楽しみにしています。感動する作品が多く、創作の勉強にもなりますね」と話していました。



今回初めて参加した佐沼高吹奏楽部の演奏では、アンコールの声が上がり、会場全体が一体となって盛り上がりました。

体を動かして健康に 体験型スポーツ大会開催

「元気とめ!! スポーツ大会」が10月13日、オサベフーズ迫体育館で開かれ、232人が参加しました。

大会は、ニュースポーツに触れることを通じて、市民が健康的で豊かな生活を送ることを目的に開催。スポーツチャンバラやモルック、eスポーツなど、計7種目が体験できるコーナーがあり、子どもたちや家族連れなど、たくさんの参加者でにぎわいました。高山ひまりさん(10)＝迫町江合＝は「友達と一緒に来ました。全種目体験しましたが、ディスクッターはフリスビーが的に当たった時に達成感があってすごく楽しかったので、何回も並んで体験しました」と元気に話しました。



バブルボール体験では、ボールを蹴ろうとすると参加者同士がぶつかってしまい、笑い声が溢れて盛り上がりしました。

登米の技や食が集結 産業フェスティバル開催

「第18回登米市産業フェスティバル」が10月5日、オサベフーズ迫体育館とエスファクトリー東北中江公園で開催され、2万人が来場しました。

市内の企業や学校など85団体が出展し、体育館内では各社が製造した製品の展示や体験コーナーが、屋外では登米産牛肉やリンゴなどの市内農産物の販売のほか、油麴井やはっと汁などの飲食コーナーが立ち並び、多くの人が市の魅力を感じて楽しみました。家族で訪れた伊藤碧杜さん(6)＝中田町大柳＝は「射的とミニニス作りが楽しかった。作った椅子は自分の椅子にして、大切に使いたいです」と笑顔で話していました。



登米総合産業高農業科の生徒が育てた花で彩られた20周年記念ロゴマークの前は、記念撮影をする人でにぎわいました。

歴史的建物を美しく 児童が文化財の清掃活動

登米小学校の6年生20人が10月28日、教育資料館(旧登米高等尋常小学校校舎)を清掃しました。

清掃活動は、歴史ある登米町の素晴らしさを再確認し、文化財の校舎を誇りに思い、大切にしていくことを目的に、年1回実施。来館した観光客に、元気よく「こんにちは」とあいさつをしながら、2階建て校舎の教室や廊下を力を合わせて清掃しました。伊藤昭太郎さんは「お客さんが来る校舎がピカピカになるように磨きました。家ではあまり掃除はしないけど、今日は雑巾が真っ黒になるまで掃除して、とても気持ちよかったです。家でもやってみようかな」と笑顔を見せました。



冷たい空気の中、腕まくりをして元気に掃除する児童たち。これからは長く保存していけるように協力してきれいにしました。

秋空にレスラー舞う DEWAプロレス登米大会

「TOME/BATTLE2025 プロレスリングDEWA望遠閣大会」が10月5日、ホテル望遠閣駐車場を会場に開催され、市内外から多くの人が観戦に訪れました。

この大会は、山形のご当地プロレス「プロレスリングDEWA」にレギュラー参戦している社会人メンバーとみやぎ北上商工会青年部のつながりから、プロレスを身近に感じてもらいたいと入場無料で開催。会場にはキッチンカーも並び、来場者は心地よい秋空の下で観戦を楽しみました。多賀城市から訪れた三上結愛さんは「プロレスが大好きで、登米で見られると知って来ました。技の掛け合いがすごかった」と話していました。



コミカルな展開に笑いが起こる場面もあれば、迫力満点の大技に歓声上がる場面もあり、会場は大いに盛り上がりました。